

阪堺線の収支について

全路線（阪堺線、上町線）の収支について

- ・ 営業収益は、平成21年度に比べて、約93,113千円増加している。
- ・ 営業費用は、平成21年度に比べて、約67,701千円減少している。
- ・ 営業損益は、平成21年度に比べて、約160,814千円改善している。

平成30年度 軌道事業収支表

(単位：千円) 未満切捨

	全路線			大阪市内			堺市内		
	H30	H21(支援開始前)	H30-H21	H30	H21(支援開始前)	H30-H21	H30	H21(支援開始前)	H30-H21
営業収益	1,297,752	1,204,639	93,113	1,035,076	1,004,795	30,281	262,675	199,842	62,833
旅客運輸収入	1,201,233	1,115,057	86,176	963,506	937,226	26,280	237,726	177,830	59,896
定期外	975,172	826,147	149,025	767,515	683,554	83,961	207,656	142,593	65,063
定期	226,060	288,909	▲ 62,849	195,989	253,671	▲ 57,682	30,069	35,237	▲ 5,168
運輸雑収入	96,519	89,581	6,938	71,570	67,569	4,001	24,948	22,012	2,936
貸付料	9,393	15,597	▲ 6,204	6,009	6,644	▲ 635	3,382	8,952	▲ 5,570
広告料	60,398	47,778	12,620	43,374	36,483	6,891	17,023	11,293	5,730
構内営業料	13,970	19,864	▲ 5,894	12,904	19,291	▲ 6,387	1,064	572	492
その他雑入	12,757	6,341	6,416	9,278	5,148	4,130	3,477	1,192	2,285
営業費用	1,476,088	1,543,789	▲ 67,701	1,033,978	1,139,901	▲ 105,923	442,108	403,887	38,221
人件費	706,210	787,020	▲ 80,810	483,947	562,909	▲ 78,962	222,263	224,109	▲ 1,846
電車動力費	69,637	67,789	1,848	45,947	46,254	▲ 307	23,689	21,533	2,156
修繕費	373,425	411,437	▲ 38,012	270,737	322,383	▲ 51,646	102,688	89,053	13,635
物件費	41,845	41,726	119	29,528	30,867	▲ 1,339	12,316	10,857	1,459
経費	122,180	80,893	41,287	87,008	60,721	26,287	35,172	20,171	15,001
諸税	85,053	67,103	17,950	59,845	46,064	13,781	25,207	21,038	4,169
減価償却費	77,733	87,819	▲ 10,086	56,961	70,695	▲ 13,734	20,771	17,123	3,648
営業損益 (堺市補助含まない)	▲ 178,336	▲ 339,150	160,814	1,098	▲ 135,106	136,204	▲ 179,433	▲ 204,044	24,611

(堺市補助)

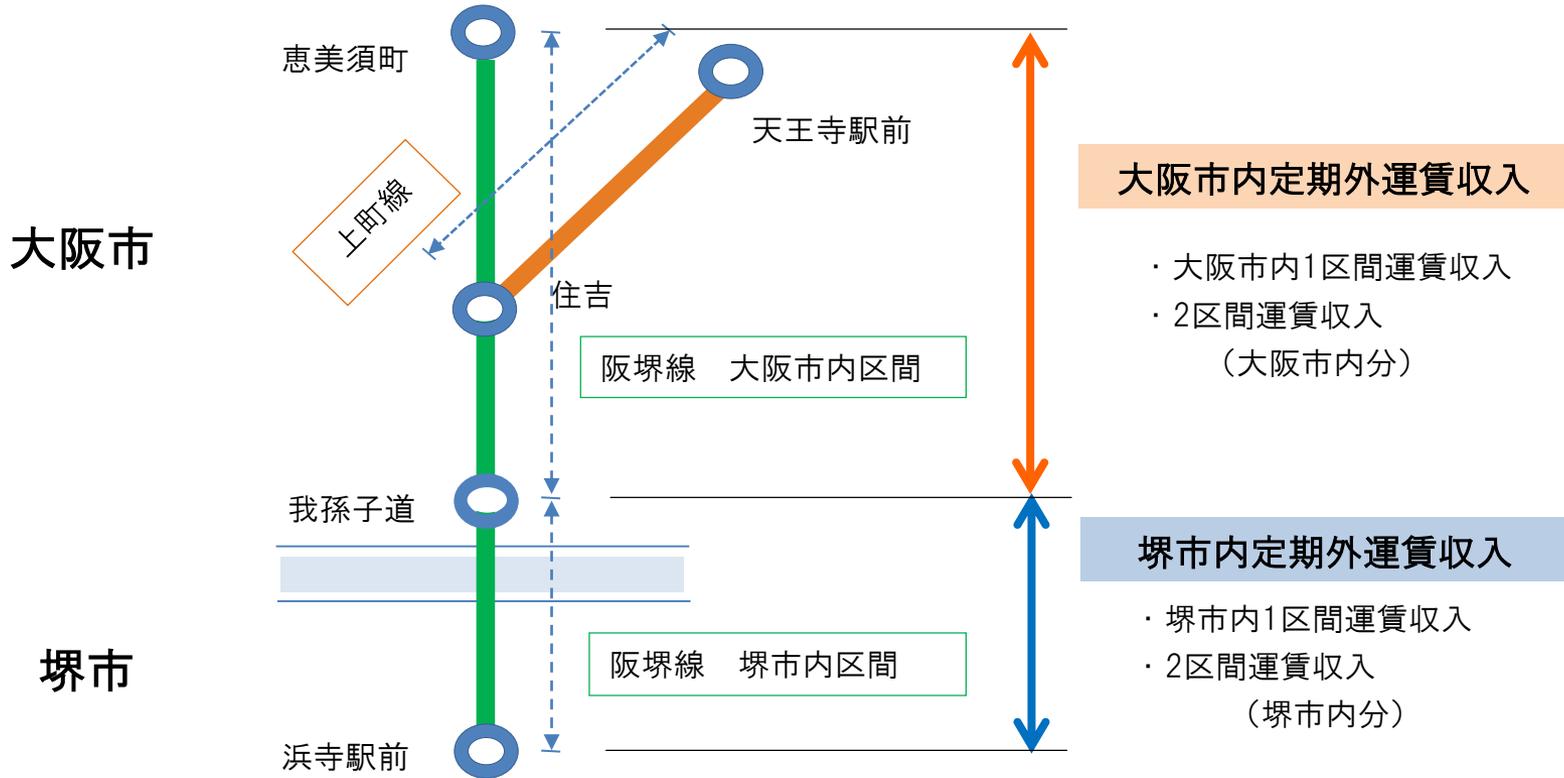
運賃施策への支援	137,810
周知広報への支援	12,190
施設保安・保守への支援	50,000
補助額合計	200,000
営業損益 (堺市補助含む)	21,664

※2区間運賃均一化(大人290円→210円)・高齢者運賃割引(100円)・堺おもてなしチケット等への支援が通年実施されております。

※施設保安・保守に要する経費への支援が通年実施されております。

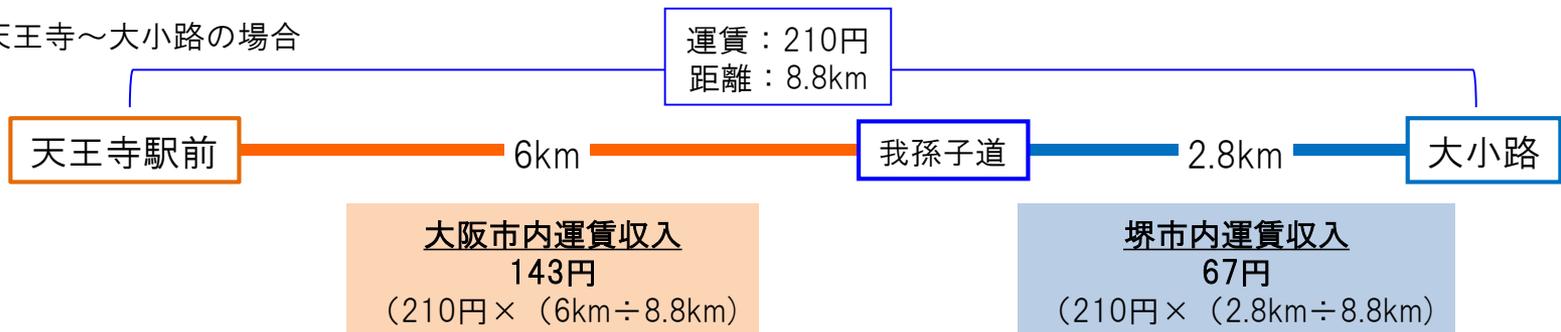
(参考) 定期外運賃収入内訳 (大阪市内・堺市内)

- ・ 2区間の定期外運賃収入は、大阪市内区間と堺市内区間を利用者が移動した距離の比率により割り振ることとしている。
- ・ 交通調査の結果から、大阪市内区間と堺市内区間の定期外運賃収入の比率は、約8：2となっている。



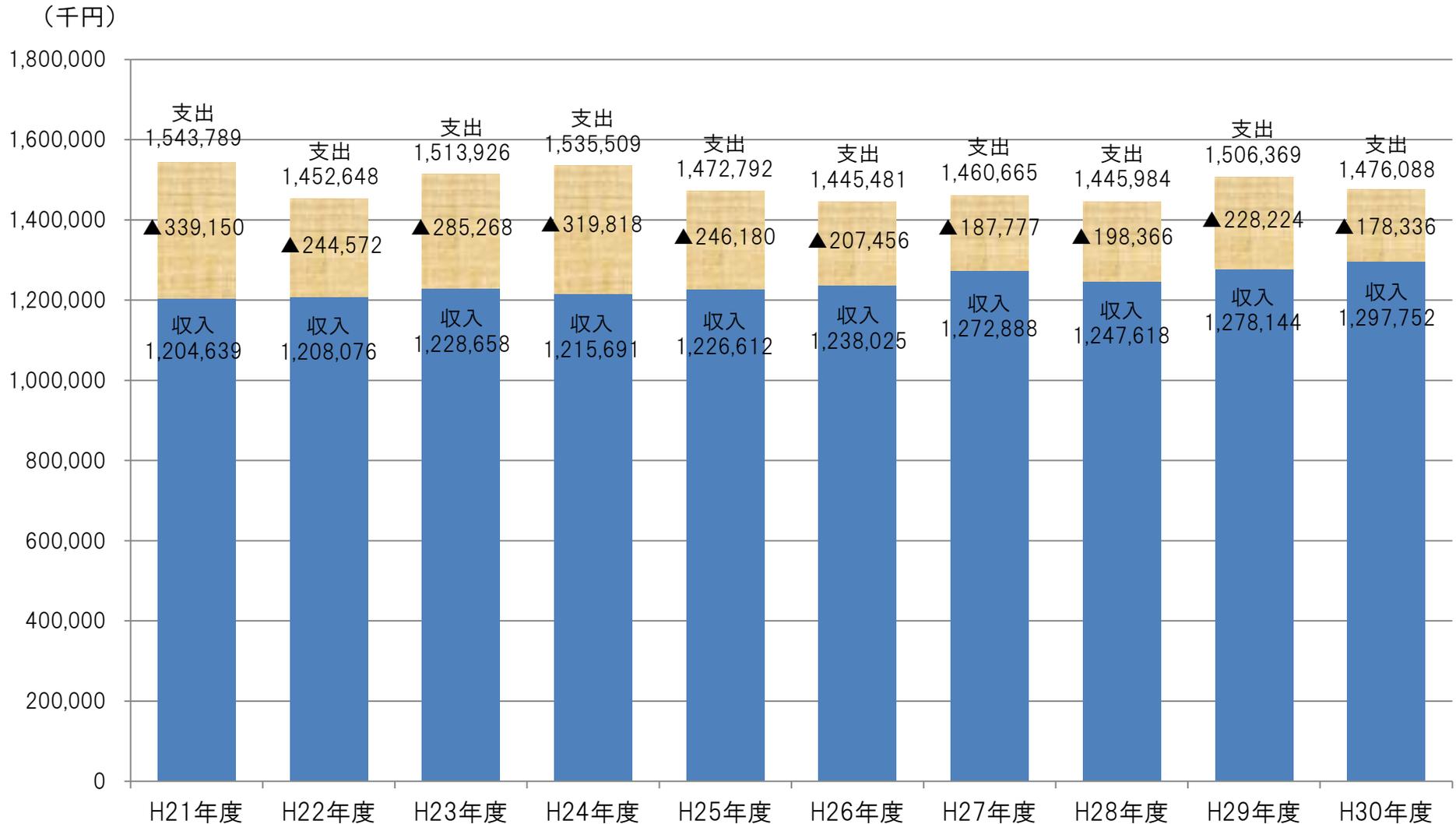
○2区間運賃収入について

【例】天王寺～大小路の場合



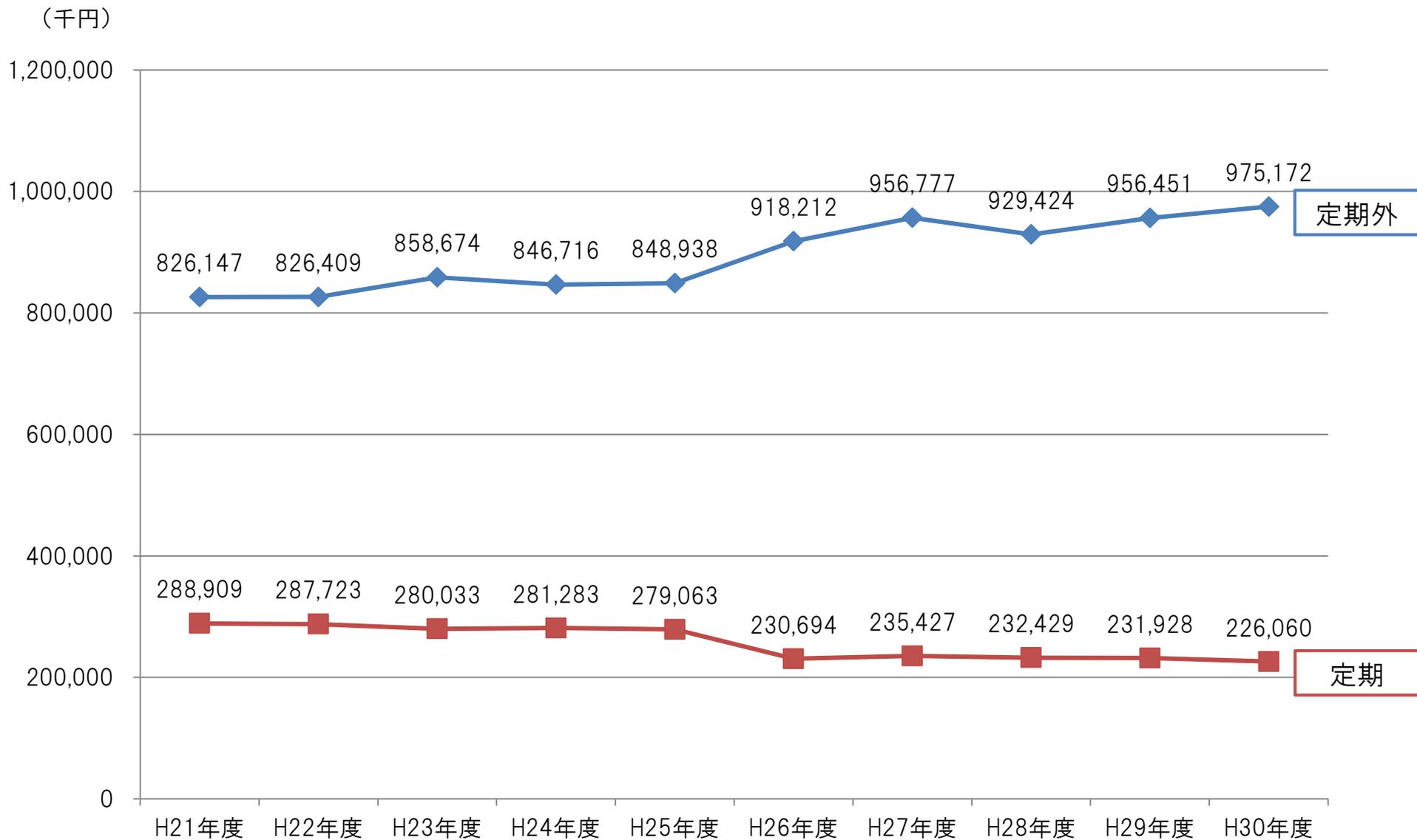
欠損額（堺市補助なし）の推移について

- ・ 阪堺全線の欠損額は、収入が増加傾向にあり、支出は減少傾向になっているため、支援策前より大幅に改善されている。
- ・ 平成30年度は、支援開始以降最小の欠損額となっている。



旅客運輸収入（堺市補助なし）の推移について

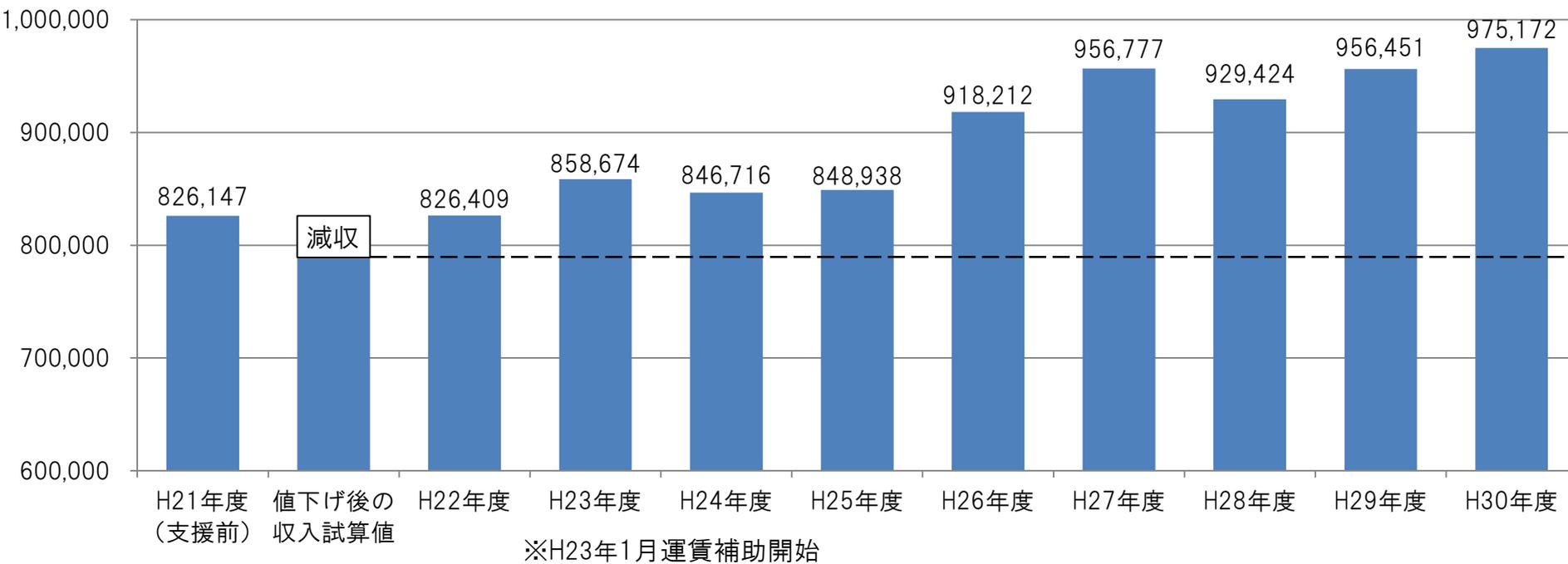
・平成26年度以降交通系ICカードへの転換により、定期の収入が減少し、定期外の収入が増加傾向になっている。



定期外旅客運輸収入（堺市補助なし）の推移について

- ・ 阪堺全線の定期外運輸収入は、支援策による運賃値下げに伴う収入減以上の収入増加となっている。
- ・ 平成26年度以降、高齢者割引拡充に伴う減収以上の利用者増加及びICカード導入により、収入が増加している。
- ・ 平成30年度は、支援開始以降最高の定期外運輸収入となっている。

(千円)



※減収の内訳（推定減収額：37,000千円）

- ・ 堺市内・大阪市内区間の均一運賃化による減収

(H23年1月～H27年1月) 290円→200円 90円/人の減収、(H27年2月～) 290円→210円 80円/人の減収

- ・ 高齢者利用割引による減収

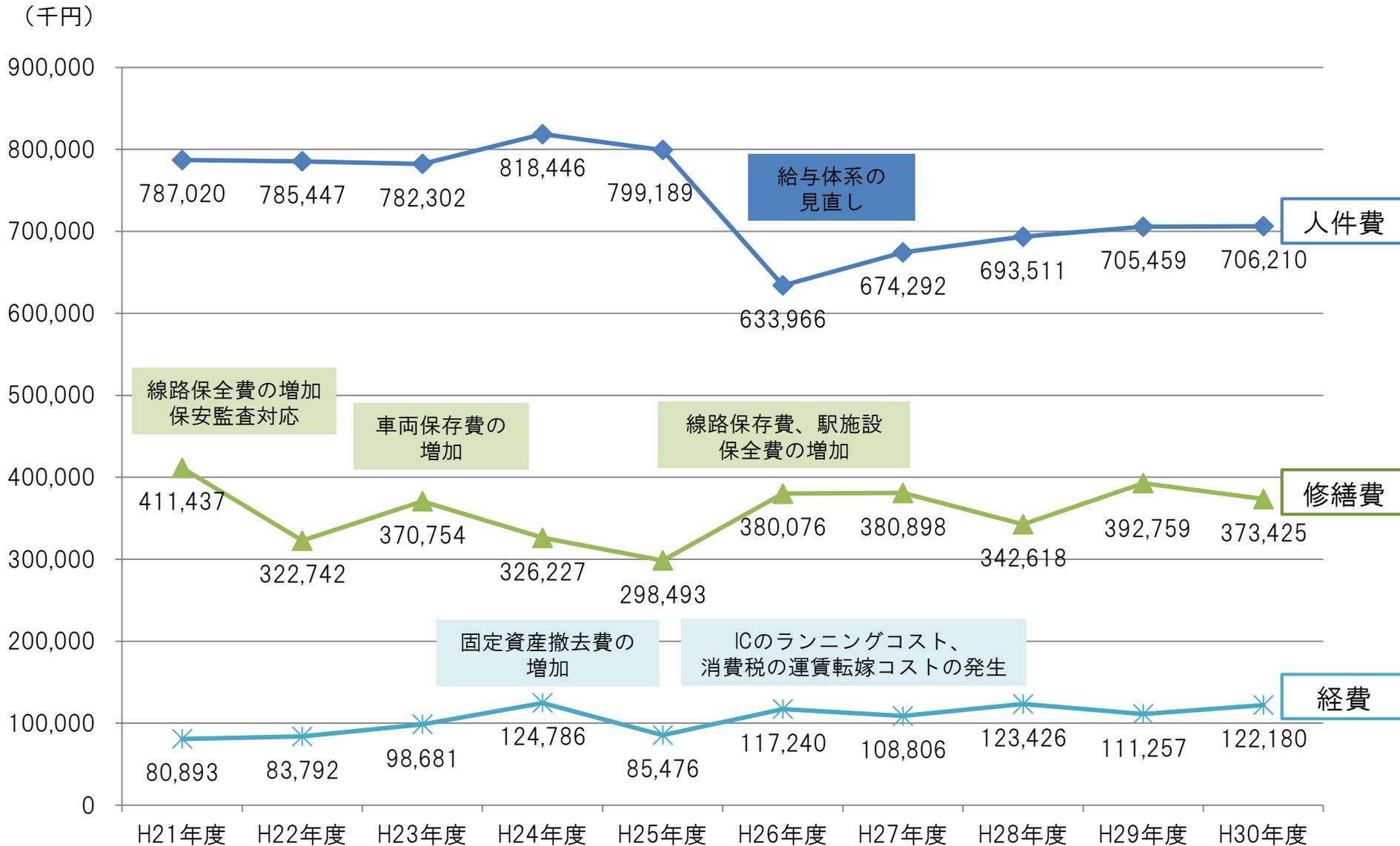
1 区間利用時：(H23年1月～H27年1月) 200円→100円 100円/人の減収

(H27年2月～) 210円→100円 110円/人の減収

2 区間利用時：(H23年1月～) 290円→100円 190円/人の減収

人件費等の支出の推移について

・平成30年度は、平成29年度に比べて、人件費と経費が増加し、修繕費は減少している。



年間総車両走行キロあたりの収支について

- ・年間総車両走行キロ数が支援策前より減少傾向にある中で、年間総車両走行キロあたりの旅客運輸収入は増加傾向にある。
- ・平成30年度の年間車両走行キロあたりの費用に占める収入割合は、平成29年度に比べて上がっている。

車両走行キロあたりの旅客運輸収入

	H21年度	～	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
年間総車両走行キロ (千km)	1,583		1,568	1,534	1,465	1,464	1,447	1,451	1,446
旅客運輸収入(千円)	1,115,057		1,128,000	1,128,001	1,148,907	1,192,205	1,161,854	1,188,380	1,201,233
年間総車両走行キロ あたり運輸収入 (円/km)	704		719	735	784	814	803	819	831

車両走行キロあたりの営業費用

	H21年度	～	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
年間総車両走行キロ (千km)	1,583		1,568	1,534	1,465	1,464	1,447	1,451	1,446
営業費用(千円)	1,543,789		1,535,509	1,472,792	1,445,481	1,460,665	1,445,984	1,506,369	1,476,088
年間総車両走行キロ あたり営業費用 (円/km)	975		979	960	987	998	999	1,038	1,021

年間総車両走行キロあたりの費用に占める収入割合

H21年度	～	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
0.72		0.73	0.77	0.79	0.82	0.80	0.79	0.81

阪堺線（堺市内区間）の利用者拡大策・運行継続に必要な経常的経費への支援について

- ・年間2億円を上限に利用者拡大策と運行継続に必要な経常的経費に支援を行っている。
- ・さらなる利用者増加の目標に向け、阪堺電軌の自助努力を促す観点から、利用者拡大に対する補助を重点配分し、目標を達成しない場合は補助の減額を条件としている。

【運行継続に必要な経費の支援】

【利用者拡大策への支援】

平成24年度	120,000千円	80,000千円
平成25年度	100,000千円	100,000千円
平成26年度	70,000千円	130,000千円
平成27年度	70,000千円	130,000千円
平成28年度	60,000千円	140,000千円
平成29年度	55,000千円	145,000千円
平成30年度	50,000千円	150,000千円

・平成30年度は、平成29年度に比べて高齢者利用割引及び運賃均一化への支援が大きく増加している。

1. 利用者拡大策への支援

(1) ゾーンチケットへの支援

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実績額	454千円	317千円	463千円	1,246千円	941千円	1,017千円	773千円

(2) 高齢者利用割引への支援

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実績額	12,029千円	27,811千円	45,019千円	58,207千円	67,302千円	70,321千円	72,123千円

(3) 堺市内・大阪市内区間の運賃均一化への支援

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実績額	63,265千円	66,718千円	68,798千円	58,302千円	54,835千円	62,236千円	64,914千円

(4) 周知広報への支援

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実績額	731千円	5,153千円	13,720千円	12,245千円	9,992千円	11,426千円	12,190千円

・年間2億円が上限のため、運行の継続に必要な経費への支援は減少を続けている。

2. 運行の継続に必要な経費への支援

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実績額	120,000千円	100,000千円	72,000千円	70,000千円	60,000千円	55,000千円	50,000千円

● 利用者拡大策と運行の継続に必要な経費への支援（合計）

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実績額	196,479千円	199,999千円	200,000千円	200,000千円	193,070千円	200,000千円	200,000千円

阪堺線（堺市内区間）の高度化、老朽化対策のための支援について

- ・10年間で30億円を高度化による利便性の向上と老朽化に伴う施設の改修に対する経費に支援を行っている。
- ・平成30年度は、平成29年度に比べて高度化に対する経費への支援は増加し、老朽化対策は減少している。

1. 高度化による利便性の向上

(1) 低床式車両の導入

	H24年度	H25年度	H26年度
実績額	234,000千円	249,600千円	249,600千円
(国補助)	81,333千円	83,200千円	83,200千円
(市補助)	152,667千円	166,400千円	166,400千円

(2) 停留場の増設、機能改善

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実績額	18,478千円	30,715千円	148,257千円	115,930千円	19,050千円	4,460千円	24,703千円
(国補助)	-	-	45,900千円	16,883千円	-	-	-
(市補助)	-	-	102,357千円	99,047千円	19,050千円	4,460千円	24,703千円

(3) ICカードの導入

※H30年度は綾ノ町上り停留場改修工事費

	H25年度	H26年度
実績額	161,335千円	30,000千円
(国補助)	52,900千円	-
(市補助)	108,435千円	30,000千円

※H26年度はおでかけ応援ICカードのシステム費

2. 老朽化対策

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実績額	181,411千円	90,034千円	87,078千円	179,830千円	181,060千円	156,746千円	116,952千円
(国補助)	59,617千円	30,012千円	32,078千円	59,115千円	60,354千円	52,249千円	38,984千円
(市補助)	121,794千円	60,022千円	55,000千円	120,715千円	120,706千円	104,497千円	77,968千円